

【別紙様式3】

再評価実施事業調査書

番号	1	事業名	国道道路改築事業		路線又は箇所名等		国道409号茂原一宮道路		
事業所管課		道路整備課		事業主体			千葉県		
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度	平成14年度	工事終了(認可)年度	平成36年度	再評価の理由	再々評価
費用便益比 B/C	1.3 (2.4)	総費用	147億円 (68億円)	総便益	196億円 (161億円)	基準年	平成26年度	供用開始年度	平成37年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

地域高規格道路「茂原・一宮・大原道路」は、「館山鴨川道路」や「鴨川大原道路」とともに、房総半島外房地域の観光拠点等の連絡性・周遊性を強化するため、さらには、観光・物流などの産業活動を支援する道路として、外房地域の骨格的な役割を果たす道路である。

特に、これらの地域高規格道路は、首都圏の広域的交通ネットワークを形成する東京湾アクアライン(アクア)や首都圏中央連絡自動車道(圏央道)等と一体となって、外房地域と首都圏との交通アクセス向上による連携機能の強化や、人や物の交流の活性化を促す交流機能の強化など、アクアや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として期待されている。

茂原一宮道路は、この「茂原・一宮・大原道路」の一部として、圏央道の茂原長南インターチェンジと接続する長南町千田から茂原市三ヶ谷に至る延長7.2kmを整備区間としており、圏央道の開通にあわせ、段階的な供用を開始しており、全区間の整備を進めているところである。

【事業の進捗状況】(H26年度末見込み)

	全体計画	投資事業費	残事業費	進捗率
事業費(億円)	152	68	84	44.7%
うち用地補償費	41	21	20	51.2%
うち工事費	111	47	64	42.3%

【社会経済情勢等】

- ・地域高規格道路「国道409号茂原一宮道路」は、外房地域の骨格的役割を果たす道路として、地元市町村や県議会などにおいても早期整備の要望が高い。
- ・圏央道の木更津東インターチェンジ(IC)から東金ジャンクション(JCT)が平成25年4月に完成、供用しており、茂原長南ICに接続する当該道路も、圏央道の開通に合わせて、700m区間の部分供用をしている。
- ・残る区間のうち、県道茂原大多喜線までの約4km区間については、平成31年度までの開通を目標に優先的に整備を進めることとし、特に、用地買収がほぼ整った長南町区間約3.3kmについては工事着手しており、また、茂原市区間約0.7mについても計画的に用地買収を進めていく予定である。
- ・全体延長が長く事業規模が大きいことなどから事業が長期化しているものの、道路幅員や交差点形状等の見直しによりコスト縮減等を図ったところであり、重点整備区間の設定やコスト縮減等により早期に事業効果が図れるよう努めている。

【対応方針(案)】


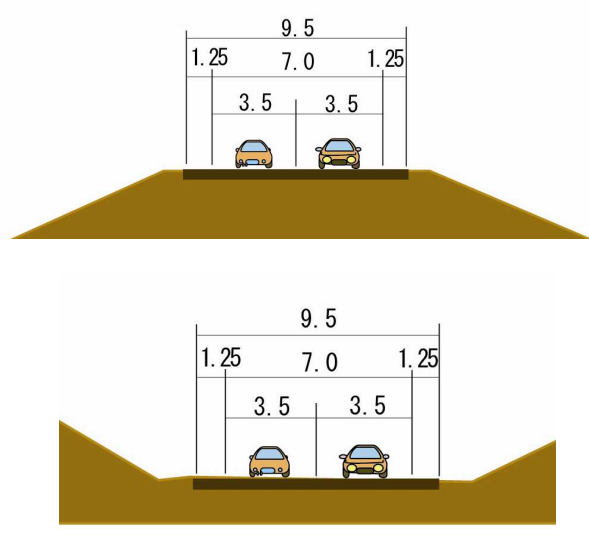
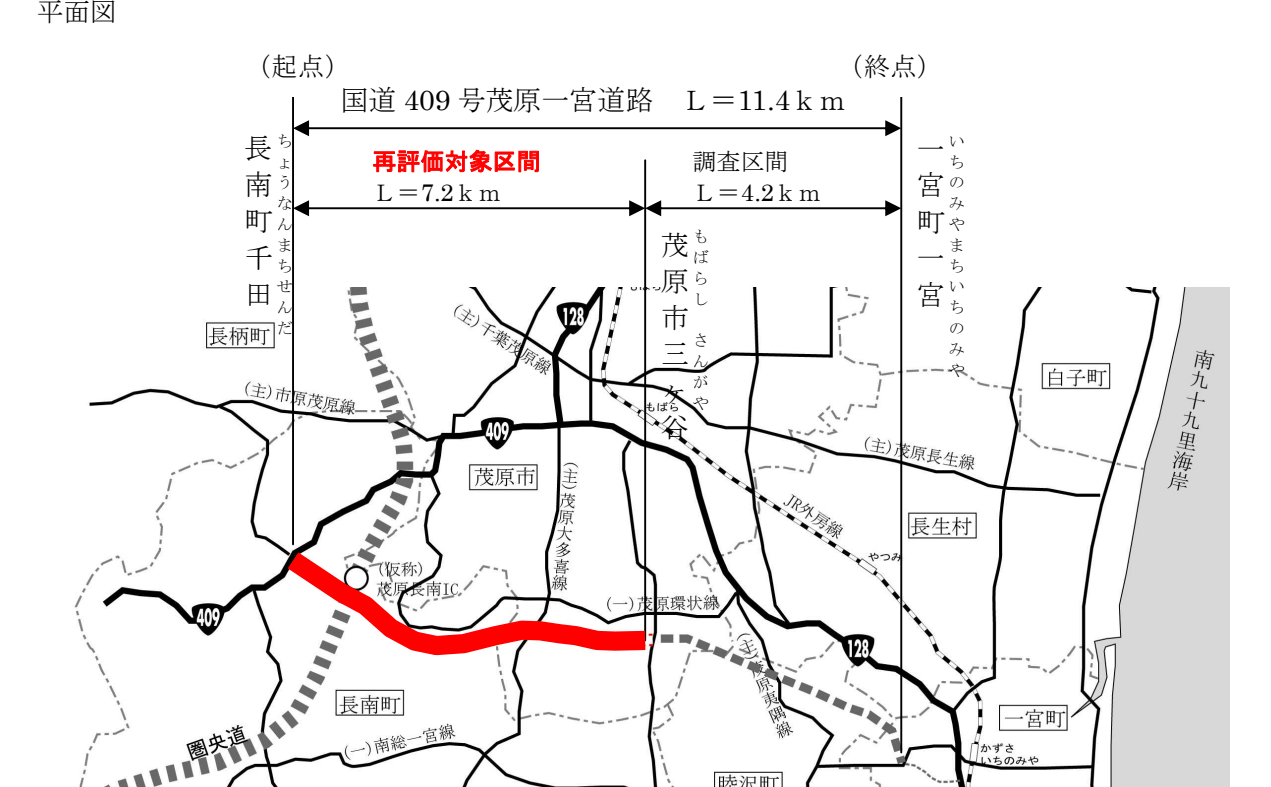
茂原一宮道路は、全体事業の費用便益(B/C)が1.3(残事業費2.4)であり、事業の投資効果が見込まれる。

地域高規格道路として、アクアや圏央道の整備効果を広く外房地域に波及させる道路として不可欠であり、地域の期待が高い道路である。

圏央道の供用開始に合わせて、国道409号から茂原長南インターチェンジ間約700mの供用を開始しており、残る区間についても、さらなるコスト縮減に努め、早期供用が図れるよう事業を継続したい。

【別紙様式 4】

事業概要図

番号	1	事業名	国道道路改築	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
<p>位置図</p>  <p>国道409号 茂原一宮道路</p>	<p>標準横断面図</p>  <p>(単位：m)</p>				
<p>平面図</p> 					

【別紙様式5】

再々評価事業に関する調書

番 号	1	事 業 名	国道道路改築事業	路線又は箇所名等	国道409号 茂原一宮道路
事業化年度	平成12年度	用地着手年度	平成13年度	工事着手年度	平成14年度

【再評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成21年度	供用開始年度	平成26年度	対応方針	継続
B/C	1.2	総費用	142億円	総便益	169億円

再評価時の委員会の意見及び当時の状況
継続することが妥当である。

再評価時の進捗状況及び再評価時想定の5年後の進捗状況

	計 画	進捗状況(H21)	5年後の想定進捗状況
全体事業費	149億円	45億円(22%)	149億円(100%)
用地取得面積	297,500㎡	194,000㎡(65%)	207,500㎡(100%)
供用面積(延長)	7.2km	—	7.2km

【再々評価の概要】

再評価実施年度 (基準年)	平成26年度	供用開始年度	平成37年度	対応方針	継続
B/C	1.3	総費用	147億円	総便益	196億円

現在の進捗状況

	計 画	進捗状況 (H26末見込み)
全体事業費	152億円	68億円(45%)
用地取得面積	297,500㎡	194,500㎡(65%)
供用面積(延長)	7.2km	0.7km

再評価後の経過及び処理状況

圏央道の木更津東インターチェンジ(IC)から東金ジャンクション(JCT)が平成25年4月に完成、供用しており、茂原長南ICに接続する当該道路も、圏央道の開通に合わせて、700m区間の部分供用をしている。

残る区間のうち、県道茂原大多喜線までの約4km区間については、平成31年度までの開通を目標に優先的に整備を進めることとし、特に、用地買収がほぼ整った長南町区間約3.3kmについては工事着手しており、また、茂原市区間約0.7mについても計画的に用地買収を進めていく予定である。